

SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）
レジリエントな防災・減災機能の強化
推進委員会（第4回） 議事概要

1. 日時：平成27年 7月1日（水） 10：00～12：00

2. 場所：中央合同庁舎第8号館8階 特別中会議室

3. 出席者：（敬称略）

<プログラムディレクター>

中島 正愛 京都大学 教授

<サブプログラムディレクター>

関 克己 河川財団 理事長

根元 義章 情報通信研究機構 耐災害ICT研究センター長

平田 直 東京大学 教授

堀 宗朗 東京大学 教授

<イノベーション戦略コーディネーター>

井村 和久 東芝 社会インフラシステム社 IT技師長

<研究成果報告者>

矢守 克也 京都大学 教授

池内 淳子 摂南大学 准教授

<関係省庁>

櫻井 秀和 内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室 企画調整官

服部 司 内閣官房 国土強靱化推進室 企画官

野崎 雅稔 総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課長

荻原 直彦 総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課 研究推進室長

中越 康友 消防庁 危険物保安室 消防技術専門官

森澤 敏哉 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課長

伊中 愛貴 厚生労働省 大臣官房 厚生科学課 健康危機管理・災害対策室
課長補佐

柚山 義人 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究調整官

高橋 敏彦 国土交通省 大臣官房 技術調査課 建設技術政策分析官

吉田 正彦 国土交通省 総合政策局 技術政策課長

<管理法人>

津田 博司 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室長

<事務局>

西條 正明 内閣府 科学技術・イノベーション担当 参事官

津田 健一郎 内閣府 科学技術・イノベーション担当 上席政策調査員

松井 伸司 内閣府 科学技術・イノベーション担当 上席政策調査員

阿部 健一 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター シニアフェロー

4. 議 事

- (1) 平成26年度GB評価結果の報告
- (2) 研究開発計画書（SIP防災）の改訂について
- (3) 平成26年度研究成果の報告（課題別）
- (4) 平成27年度研究計画の説明（課題別）
- (5) 平成27年度年間計画（SIP防災）について
- (6) 平成26年度研究成果報告トピック
 - (1) 課題⑦地域医療防災ネットワーク構築
 - (2) 課題⑦津波避難訓練

5. 配布資料

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 資料0 | 議事次第（第4回推進委員会） |
| 資料1 | 参加者名簿（第4回推進委員会） |
| 資料2 | 座席表（第4回推進委員会） |
| 資料3 | 前回議事要旨（第3回推進委員会） |
| 資料4-1 | 平成26年度GB評価結果 |
| 資料4-2 | 平成26年度SIP評価結果（概要） |
| 資料4-3 | 平成26年度SIP評価結果 |
| 資料5 | SIP防災・研究開発計画書改訂版 |
| 資料6 | 平成26年度研究成果（課題別） |
| 資料7 | 年間スケジュール（SIP防災） |
| 資料8-1 | 被災者のヘルスリテラシー向上を目的とした地域医療防災ネットワークの構築 |
| 資料8-2 | 津波避難訓練および支援ツールの開発研究 |

6. 議事概要

- (1) 平成26年度GB評価結果の報告
○資料4-1、4-2、4-3により、事務局から説明が行われた。
- (2) 研究開発計画書（SIP防災）の改訂について
○資料5により、事務局から説明が行われた。変更点として、
 - ・各課題の2015年度目標、取り組みのポイント、2015年度予算を追記した
 - ・研究テーマの構成を課題①から⑦という、公募後の構成に変更した
 - ・課題②の豪雨・竜巻に土砂災害の予測を追加した
 - ・各課題の工程表を具体的な目標を記載する形で修正したことが説明された。

(3) 平成26年度研究成果の報告（課題別）

○資料6により、中島PDから説明が行われた。特に次の点について説明があった。

- ・全体で7つの課題を設定している。
- ・各々、津波、豪雨、液状化、府省連携の共有システム、即時被害予測、災害時の配信技術、そして、最後が地域展開である。
- ・テーマと内容については、府省連携と、3年後、5年後、最終的にはプロジェクトの終了時に社会実装の姿を見せるための種がある課題を中心に選んだ。

(4) 平成27年度研究計画の説明（課題別）

○資料5により、中島PDから説明が行われた。委員会の最後に、具体的例題として、特に地域展開のテーマについて2名の先生のお話いただくことが紹介された。

(5) 平成27年度年間計画（SIP防災）について

○資料7により、事務局から、SIP防災の年間活動計画が説明された。

(6) 平成26年度研究成果報告トピック

○最初に、資料8-1により、摂南大学・池内准教授から、「被災者のヘルスリテラシー向上を目的とした地域医療防災ネットワークの構築」について講演があった。

○講演後、「想定する地域の大きさ」、「災害時に薬の名前を適切に集約する手法の取り組み」などについての質問があった。

○次に、資料8-2により、京都大学・矢守教授から、「津波避難訓練および支援ツールの開発研究」について講演があった。

○講演後、「すばらしい訓練ツールであり、活用をすすめてほしい」、「津波避難訓練というのは継続性が重要であり、高齢者主体の訓練で使っていくことで継続性が高まると思われる」などのコメントと、「住民でない人がいるケースへの拡張について」の質問があった。

(7) その他

○最後に、PD、各サブPDと戦略コーディネーターから今年度の抱負について、説明があった。

以上